

# 1. 事業別助成金総括表

(単位:千円)

		平成20年度助成金(実績)		平成20年度助成金(計画)
<b>I 共同助成事業</b>				
①(PNファンド)	国内調査研究助成	8件	8,600	
	国内活動助成	13件	8,230	
	国内長期事業助成	2件	4,000	
	海外助成	5件	5,290	
	小計	28件	26,120	26,000
②(ナショナル・トラスト)	国内活動助成	5件	18,707	19,000
	計	33件	44,827	45,000
<b>II 自主助成事業</b>				
①(有力保護団体助成)	国内調査研究助成	3件	6,000	
	国内活動助成	3件	4,000	
	海外助成	2件	2,000	
	小計	8件	12,000	12,000
②(直接助成)	国内調査研究助成	5件	16,910	
	国内活動助成	2件	2,265	
	小計	7件	19,175	20,000
	計	15件	31,175	32,000
	合計	48件	76,002	77,000

## 2. 助成金交付一覧

### I-① 平成20年度(2008年度)第19期プロ・ナトゥーラ・ファンド交付一覧

#### 国内研究助成

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	決定額
1	マクロサテライトDNA解析による希少種イトウの遺伝的構造の解明および遺伝的指標を用いた保全策の提言	イトウ生態保全研究ネットワーク	江戸 謙顕 (文化庁記念物課天然記念物部門 文部科学技官)	1,090	1,090
2	沖縄島で再発見された絶滅危惧種オキナワトゲネズミの保全のための調査	アージ研究会	河内 紀浩 (島嶼生物研究所 代表)	1,500	1,500
3	国内希少種のヤマネコ類と人間の共存にむけた基礎研究—人間活動へのヤマネコの生態学的反応—	琉球大学ヤマネコ生態研究グループ	伊澤 雅子 (琉球大学理学部海洋自然学科 教授)	1,370	1,370
4	霧ヶ峰におけるイタドリ緑化導入個体による地域個体群の遺伝的影響の分析	生物多様性緑化研究会	小林 達明 (千葉大学園芸学部 教授)	1,080	1,080
5	三浦半島周辺のカムリウミスズメ保護のための調査	城ヶ島沖の海鳥観察グループ	宮脇 佳郎 (城ヶ島沖の海鳥観察グループ 副代表)	1,380	1,000
6	GISを用いたツキノワグマにおける保護管理対策の評価	ツキノワグマ保護管理ネットワーク	山本 俊昭 (日本獣医生命科学大学・獣医学部 講師)	810	810
7	北海道に分布する希少種ノサブマルハナバチにおける侵入外来種の影響と遺伝的多様性に関する研究	マルハナバチ保全研究グループ	高橋 純一 (京大大学生態学研究センター 研究機関研究員)	1,050	1,050
8	岩手県における水禽および猛禽類の鉛中毒の実態調査	いわて野生動物保護ネット(IWC-net)	高橋 知明 (たかはし動物病院 獣医師)	1,000	700

国内研究助成 8件 小計 9,280 8,600

#### 国内活動助成

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	決定額
1	市民参加による、ジュゴン生息域の海草藻場のモニタリング調査	シーグラスウォッチ・ジャパン	河内 直子 (北海道大学厚岸臨海実験所学術研究員)	510	510
2	長野県安曇野のオオルリシジミ自然個体群の回復のための保護活動	安曇野オオルリシジミ保護対策会議	那須野 雅好 (安曇野市教育委員会 文化財保護係長)	620	620
3	研究成果「台風による樹木倒木をとおして明らかになった軽井沢の本来の自然」の普及活動(出版)	軽井沢自然地理研究会	江川 良武 (軽井沢文化協会)	240	240
4	香川県産ニッポンバラタナゴの系統保存のための保護池造成(継続)	かがわたナゴ倶楽部	横井 聡 (三菱マテリアル株式会社直島製錬所 顧問)	820	820
5	日本の重要野鳥の生息地(IBA)普及のための英文ホームページの作成	(財)日本野鳥の会	古南 幸弘 ((財)日本野鳥の会 室長)	2,190	1,050
6	長島(山口県熊毛郡上関町)の貴重な自然環境及び生態系についてのガイドブックの作成	長島の自然を守る会	高島 美登里	1,000	600
7	小笠原の固有トンボ類再生・保全のための活動	NPO法人 小笠原倶楽部 トンボプロジェクトチーム	島田 克己 (ポニンプルーシマ 代表者)	1,050	1,050
8	北海道淡水魚フォーラム「サクラマス再生をめざして」	北海道淡水魚保護ネットワーク	後藤 晃 (北海道大学大学院水産科学研究院 教授)	420	420
9	霧ヶ峰における草原保全活動推進のための啓蒙資料作成と活用	霧ヶ峰ネットワーク	熊田 章子 (株式会社 地域環境計画)	830	800
10	豊かな自然との共存を旨としてこれからの野生鳥獣対策を考える	生物多様性保全ネットワーク新潟	諸橋 潔 (生物多様性保全ネットワーク新潟 代表)	320	320
11	地域連携による生態学教育プログラム「人と自然と生態学」	岩手生態学ネットワーク	松政 正俊 (岩手医学大学 共通教育センター・生物 准教授)	750	500
12	砂浜侵食が進む宮崎県吉吉・佐土原海岸の市民調査をもとにした行政への侵食対策の働きかけ	ひむかの砂浜復元ネットワーク	林 裕美子 (ひむかの砂浜復元ネットワーク 代表)	990	500
13	沖縄やんばるにおける森林整備事業の実態調査にもとづく自然保護の普及・啓蒙	沖縄やんばる自然環境保全・再生研究会	関根 孝道 (関西学院大学 教授)	800	800

国内活動助成 13件 小計 10,540 8,230

国内長期事業助成

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	決定額
1	兵庫県但馬地方に生息するニホンザル地域個体群の絶滅防止と軋轢解消	ひょうごWGM研究グループ	鈴木 克哉（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教授）	3,650	2,000
2	ニホンジカによる過採食が芦生の冷温帯天然林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響の解明	芦生生物相保全プロジェクト	福島 慶太郎（京都大学 博士課程）	2,470	2,000

国内長期事業助成 2件 小計 6,120 4,000

No.	テーマ	申請者名	推薦者名	申請額	内定額
-----	-----	------	------	-----	-----

海外助成

1	ロシア日本海沿岸部におけるクロツラヘラサギ個体群の調査	Yuri Shibaev	藤巻 裕蔵（山階鳥類研究所 客員研究員）	1,200	1,200
2	マレーシア・サバ州、クリアス半島のテングザルの保全（継続）	Henry Bernard	半谷 吾郎（京都大学霊長類研究所 准教授）	800	800
3	ロシアのムラヴィオフカ自然保護区における水環境の変化や気候変動がツル類、コウノトリ、並びに湿原生態系におよぼす影響について	Sergei M.Smirenski	百瀬 邦和（NPO法人 タンチョウ保護研究グループ 理事長）	1,000	1,000
4	マレーグマとその森林生息環境の保全に関する東カリマンタンでの地域社会への普及啓発活動	Gabriella M.Fredriksson	山崎 晃司（茨城県自然博物館 首席学芸員）	1,200	1,200
5	アルゼンチン国/パタゴニアカイツブリの繁殖地における個体数と繁殖湖沼の現状調査	佐藤 やよい	多喜代 道徳（元JICA国際協力機構日系社会シニアボランティア アルゼンチン共和国 社会福祉指導派遣）	1,090	1,090

海外助成 5件 小計 5,290 5,290

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成金額	合計 28件	26,120
-------------------	--------	--------

I-② 平成20年度(2008年度)第4期

ナショナル・トラスト活動助成決定先一覧

(千円)

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
1	トラスト地の維持管理費用(3年目継続)	NPO法人 阿蘇花野協会	塩谷 愛一 (NPO法人 阿蘇花野協会 代表)	500	500
2	北海道・札幌市の土地取得(3年目継続)	NPO法人 カラカネイトンポを守る会	田屋 勉 (NPO法人 カラカネイトンポを守る会 理事長(会長))	2,229	2,229
3	高知県・高岡郡四万十町の土地取得(2年目継続)	社団法人 生態系トラスト協会	中村 滝男 (社団法人 生態系トラスト協会 会長)	2,350	2,350
4	北海道・浜中町、厚岸町の土地取得	NPO法人 霧多布湿原トラスト	三膳 時子 (NPO法人 霧多布湿原トラスト 理事長)	5,795	5,795
5	埼玉県・桶川市の土地取得	NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川	小川 早枝子 (NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川 理事長)	7,833	7,833

<b>ナショナル・トラスト活動助成額</b>		<b>合計</b>	<b>5件</b>	<b>18,707</b>
------------------------	--	-----------	-----------	---------------

平成20年度(2008年度)第19期自主事業交付一覧

II-① 有力保護団体助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
国内調査研究助成					
(千円)					
1	極東ロシアにおける鳥類標識調査の推進(継続)	財団法人 山階鳥類研究所	島津 久永 (財団法人 山階鳥類研究所 理事長)	2,000	2,000
2	治山ダム撤去による溪流の生物多様性復元を進めるためのモニタリング手法の検討	財団法人 日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財団法人 日本自然保護協会 理事長)	1,500	1,500
3	小笠原諸島・ジオエコタイプ(GET)区分解析による生物多様性保全戦略プロジェクト	財団法人 日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財団法人 日本自然保護協会 理事長)	2,500	2,500
				3件	6,000
国内活動助成					
1	(1)石垣島白保サンゴ礁における海洋環境モニタリング調査(2008年)	財団法人 世界自然保護基金ジャパン	徳川 恒孝 (財団法人 世界自然保護基金ジャパン 会長)	1,400	4,000
2	(2)ジュゴン・ノグチゲラ・ヤンバルクイナ生息地の調査・保護活動(2008年)			1,400	
3	(3)南西諸島における生物多様性評価プロジェクト(2008年)			1,200	
				3件	4,000
海外活動助成					
1	サハリン石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査研究・政策提言・啓蒙活動(継続)	国際環境NGO FoE Japan	ランダル・ヘルテン (国際環境NGO FoE Japan 代表理事)	1,000	1,000
2	<ロシア極東生物多様性Hotspot保護戦略>沿岸地方ビキン川流域の自然・生物多様性に関する科学的知見の普及と関心喚起を目的に行うロシア語情報の日本語資料化と公開	国際環境NGO FoE Japan	ランダル・ヘルテン (国際環境NGO FoE Japan 代表理事)	1,000	1,000
				2件	2,000
有力保護団体助成額			<b>合計 8件</b>	<b>12,000</b>	

II-② 直接助成

No.	テーマ	助成先	代表者	申請額	助成額
国内調査研究助成					
1	日本アルプスにおけるライチョウ生息数に関する調査【2008年度朝日岳・御嶽山・火打山調査】	日本アルプス雷鳥研究会	中村 浩志 (信州大学教育学部 教授)	1,000	1,000
2	有明海奥部海域の水質・海底環境の現状と課題	有明海環境生態系調査・研究プロジェクト	堤 裕昭 (熊本県立大学環境共生学部 教授)	1,230	1,230
3	ニホンジカによる食害が深刻な南アルプス北部における被害実態調査と高山植物等の緊急保護	南アルプス食害対策協議会	小坂 樫尾 (長野県伊那市 市長)	4,110	4,110
4	新石垣空港建設予定地及びその周辺の洞窟群に生息する絶滅危惧種コウモリの生息実態に関する学術調査(夏期調査)	カラ・カルスト地域学術調査委員会 略称:コウモリ類学術調査委員会	船越 公威 (鹿児島国際大学 教授)	570	570
5	小笠原諸島における外来種対策 (2年目)	小笠原諸島自然環境保全機構	堀越 和夫 (NPO法人 小笠原自然文化研究所 理事長)	10,000	10,000
				5件	16,910
国内活動助成					
1	高山帯におけるニホンジカの食害問題の重大性と緊急性を広く世間にアピールし、併せて、われわれ山岳団体として取り組める対策について検討する	日本山岳会 自然保護委員会	山川 陽一 (社団法人 日本山岳会 理事)	765	765
2	南アルプスにおける高山植物のニホンジカ食害対策	南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク	日比野 重彦 (南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク 会長)	1,500	1,500
				2件	2,265
直接助成額			<b>合計 7件</b>	<b>19,175</b>	
<b>自主事業</b>		<b>総額</b>	<b>合計 15件</b>	<b>31,175</b>	